

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃげきだんちようじゅうぎが 有限会社劇団鳥獣戯画	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表取締役 知念正文		
制作団体所在地	〒 358-0023	最寄り駅(バス停)	扇台4丁目(コミュニティバス)
	埼玉県入間市扇台4-4-3		
電話番号	04-2960-6000		
ふりがな 公演団体名	げきだんちようじゅうぎが 劇団鳥獣戯画	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表 知念正文	http://www.chojugiga.co.jp	
公演団体所在地	〒 358-0023	最寄り駅(バス停)	扇台4丁目(コミュニティバス)
	埼玉県入間市扇台4-4-3		
制作団体 設立年月	1989年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 知念正文 副代表 知念有里子 経理 佐藤久美子・樋口春香	俳優 8名 演出部 2名 加入条件=オーディション合格者	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	樋口春香
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	松井翼
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	haruka@chojugiga.co.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1975年劇団鳥獣戯画として発足。1989年法人格を取得。 狂言、タップ、日舞、三味線、声楽、殺陣などを日常的にレッスンし、役者の力量を高めつつ日本人の感性を生かしたエンターテイメントを目指し、数々のオリジナルミュージカルを生み出している。 人気長編漫画「ガラスの仮面」に登場する「劇団一角獣」のモデルとなった劇団。和物ミュージカルから展開した歌舞伎ミュージカルのシリーズ「好色五人女」「好色一代男」「真夏の夜の夢」で人気を定着。 その後、パフォーマンスドラマ「トリッピング・ミスターじじい」等の社会派パフォーマンスを創作。2019年中国国際演劇祭にて『作品賞』『助演男優賞(赤星昇一郎)』を受賞した「三人でシェイクスピア」を鑑賞団体や中学・高校演劇鑑賞会を交えつつ、主宰で「跳び跳びロングラン」として公演中。10月でロングラン満21周年を迎える。狂言ミュージカル「入間川」「柿山伏・ぶす」を鑑賞団体や小学校の芸術鑑賞会で上演。 また、地域での貢献活動として、市民ミュージカル企画・指導、バリアフリーの会でのミュージカル創作指導、小学生ミュージカル体験事業等にも積極的に取り組んでいる。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>令和4年度 狂言ミュージカル「柿山伏」1公演「ぶす」2公演 「ル プチ プリンス」2公演 「さく婆ちゃんと腰折れ雀」2公演 ありこさんの紙芝居ミュージカル「てじ」2公演 「三人でシェイクスピア」3公演 令和5年度 「ル プチ プリンス」1公演 「三人でシェイクスピア」2公演</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>「なにして遊ぶ？」1公演 「むずむずうずうずコンサート」1公演 狂言ミュージカル「入間川」2公演</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>http://www.chojugiga.co.jp/view/ryokan.html</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

劇団鳥獣戯画

】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	ミュージカル「良寛さん～てんてん手毬はどこいくの?～」				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「良寛さん～てんてん手毬はどこいくの?～」</p> <p>脚本:知念正文 作曲:雨宮賢明 演出:知念正文 振付:知念正文</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況		
演目概要	<p>書家、詩人として知られる名僧、良寛さん。新潟県は出雲崎の裕福な商人のうちに生まれた良寛さんが、なぜ出家し、また、なぜ寺を出て粗末な草庵に住み、乞食坊主の暮らしを選んだのか……。子どもたちと手毬で遊び、たくさんの書や心に響く和歌、漢詩を残し、晩年には40も年齢の離れた尼僧、貞心尼(ていしんに)との恋をした良寛さんの生涯が、歌と踊りを交え、演じられます。今に伝えられるエピソードや残された詩を織り交ぜ、貧をものともしない穏やかで激しい良寛さんの生涯を、アクティブで楽しい、感動的な作品にしました。</p>				
演目選択理由	<p>日本の魅力溢れる偉人「良寛」を、笑いと感動とともに伝えたい。 自分を振り返ることもできない、多忙な日々、お金を得ることにまい進する日本人。さて、良寛の時代は…? 良寛は「子どもの純真な心こそが誠の仏の心」と、子ども達と遊ぶのが大好きでした。寺修行の中で権力争いに走る高僧達に嫌気がさし、旅に出た良寛が行きついたのは山の庵。四季の移ろいと共に生きて己の心、人間の心を見つめていきます。貧しく、でも心豊かに村の子どもたちと遊び、村人たちと語らう。その清貧な生き方は、現代の子どもにとっても鮮やかな驚きとともに受け止められると思います。今、良寛の名前も、ユニークなエピソードも知らない子ども達に、良寛の魅力を伝えたい。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>オープニングで、事前のワークショップで練習をした児童が、衣裳を着て村の子どもを演じ、良寛との遊びのシーンを、自分で考えたセリフや唄をあげるパフォーマンスで元気いっぱい演じます。 終演後、「まりと殿様」の振付をし、ワークショップの参加児童が前に出て見本になり、全員で踊ります。</p>				
出演者	ちねんまさふみ 石丸有里子 樋口春香 竹内くみこ 石出知 ユニコ 浅野裕美子				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 7 名	運搬	積載量: 2 t		
	スタッフ: 5 名		車長: 5 m		
	合計: 12 名		台数: 1 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7時	7時-12時(出演児童リハーサル12時-12時30分)	13時30分-14時50分	無	15時05分-16時35分	16時50分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	11月	12月	1月	計	13日	
		13日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20人程度まで(応相談)
		鑑賞人数目安	400人程度まで



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 劇団鳥獣戯画 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	40名程度まで(応相談)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>事前に、現今に伝わる良寛というお坊さんのエピソードを調べてもらいます。</p> <p>ワークショップ当日は、コミュニケーションワークや「鏡」「影」「縄跳び」「スローモーション」等の演劇の基礎のエチュードにより『相手を観察する』『身体の動きを知り、コントロールする』『言葉を交わさずに相手はどう出るかを推測し、動きを合わせる』『皆で遊びながら、無い縄を見る、感じる』等を楽しく学びます。</p> <p>「凧の歌」を全員で歌い、「まりと殿様」の振付を皆で踊ります。</p> <p>車座になり、良寛さんについて調べたエピソードを発表したり、良寛さんが生きてた「江戸時代」の人々の生活は、どうだったのかを想像し、「ホットスポット」というエチュードで良寛さんと遊んだ江戸時代の子どもになりきり、皆からの質問に答えます。 例:好きな食べ物は何? 好きな遊びは何? など</p> <p>良寛と遊ぶシーンを創ります。 出演児童は、良寛の「何して遊ぶ?」の問いに各々で考えた遊びを答え、「凧あげ」の歌を皆で歌いながらパンとマイムで糸を引き、糸の切れた凧をおいかけて退場するまでを何度か稽古します。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>良寛というユニークなお坊さんの生き方を知り、江戸時代の子どもの遊びや生活に思いをはせ、想像する、感情、情緒、経験、気づく、考える、確かめる、発見する、調べる等を自然に体感することの出来るワークショップです。</p> <p>①プロの俳優とともにエチュードを行うことで、心と身体の解放を楽しく学ぶ ②自分で考えたことを発表する機会 友達意外な一面にであう ③セリフだけでなく、歌うこと踊ることも表現の大きな要素だと体感できる</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>ワークショップの最後に、児童が良寛とともに凧あげをするシーンのリハーサルを行います。その時に、本番までに練習できる様、先生に動画の撮影をお願いします。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

劇団鳥獣戯画

】

①本事業に対する取り組み姿勢

劇団鳥獣戯画の代表知念正文はCX「ひらけ！ポンキッキ」やNHK「おかあさんといっしょ」の振付や作詞、演出、脚本を担当。また、子ども劇団への指導、市民ミュージカルの指導、学校でのワークショップ(演劇・ダンス・ミュージカル)等、長年子どもたちと向き合う仕事を続けてきました。その中で、子どもたちが芸術に出会い、体験することが、子どもの成長にとっても重要だと考えています。

また、芸術に出会う機会のない日本の子どもたち、学びの機会に格差のある日本において、学校公演は大変に大切な機会であると感じています。この、ワークショップと共に公演を行う事業は、学校の個性や状況に対応できるので、大変有意義な事業と感じております。ただ、本来ならば演劇は吹奏楽のクリニックより時間が欲しい分野だと思いますので、将来は、演劇のワークは時間を増やして実施されることを願っております。

「劇団鳥獣戯画」は創立当時より、個々がハイレベルな俳優になるために劇団にて、演技は勿論のこと、定期的な朗読会による互いの研鑽、また、バレエ、タップダンス、日舞、三味線、アクロバット、狂言、殺陣、声楽、コントーション(軟体芸)のレッスンを続けております。身体訓練の行き届いた俳優による上演は、児童たちに人間の可能性を気づかせ、豊かな言葉は必ず心に響くと確信しております。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

※ワークショップも公演メンバーが行うので、事前の公演現場の下見や公演打ち合わせがご担当先生としっかりできます。

※質問票や確認票を作成し、意思疎通を図ります。

※支援学校の上演の場合でも、主指導者の石丸は障がいのある人も、ない人も一緒にミュージカルを創るバリアフリーの会、NPO法人「わーくぼけっと」にてダンスや演劇の指導を20年続けており、その際に培ったノウハウで各々に合わせたワークショップを実行することが可能です。

また、補助スタッフのメンバーも一緒に舞台を創り上げた経験が豊かです。

※ワークショップメンバーは非認知能力についての学びを行っております。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫